

サポーターの方からのご支援ありがとうございます



今回のご紹介: 有限会社モイスティヌ仙台販売様

美容機器の販売・基礎化粧品販売・スキンケアの技術指導などを行っている、法人サポーターの有限会社モイスティヌ仙台販売様は、企業理念の第一に「私達は、女性がプロとして輝き、社会貢献が出来る企業日本一を目指します。」と掲げています。社会貢献活動のひとつとして、CIESF もご支援いただいております。11 月 3 日に「第2回美で世界を救おうチャリティーイベント in モイスティヌ泉サロン」というチャリティーイベントを開催し、カンボジアの教育支援のために多額の募金を集めてくださいました。カンボジアの教育事情を知った代表取締役の名倉愛さんは、CIESF へのご支援をはじめにあたり、「皆様に支えられて今日がある一企業として、利益の一部をこの支援に充てていくことを決めました」とおっしゃっていました。チャリティーイベントでのご支援は 2 年目となるほか、洗顔ネットの売上の 100% をご寄付としてくださっています。



「11 月 3 日のイベントは大盛況、寄付金も去年より増えました」と名倉社長(写真左)

CIESF では企業の方々と一緒に、支援企画を作っていきたいと考えております。

皆さまのご協力お待ちしております。

gooddo

●gooddo(グッドド)へのクリックによるご協力をお願い●
gooddo の CIESF のページに行き、「応援する」というボタンをクリックすると「応援ポイント」が貯まります。ポイントに応じて支援金が届けられます。

gooddo シーセフ

カンボジアの教科書事情 ②

10 月に愛知教育大学図書館内のアイスペースにて「カンボジア教科書展」を開催しました。教科書を見ると、その国の教育の特徴がわかります。「国境なき教師団」の元教育アドバイザーである寛八郎(かけひはちろう)先生がまとめた、「カンボジアの教科書事情」についてご紹介します。ニュースレター10月号の続きです。

教科書に関する問題のひとつは、この教科書が何とか配布されても、全部が学校現場まで届かないということです。実は、教育省から各校へ送られる過程で誰かが教科書を抜き取って市場へ売っているというのです。ある報告によると、地方の学校の先生や役人などが「非売品」と書かれた教科書を本屋に売っているということでした。給料が安いためのやむを得ぬ対策とはいえ、事実とすれば教育に携わる人の仕事としてとても残念ですね。

私も本屋で教科書を買いましたが、よく見るとあるものは「販売用」と片隅に書いてありましたが、別のものは「非売品」と書いてありました。あるとき「販売用」ということで安心して買って見たところ、それはシールを張ったもので、それをめくると「非売品」という文字が印刷してありました。実に巧妙で、だまされたにもかかわらず思わず感心してしまいました。このため、教科書を持っていない子どもも相当数います。

(次号につづく)

CIESF サポーター募集

- 法人サポーター 1口10万円(寄付から1年間)
- スペシャルサポーター 1口5万円(寄付から1年間)
- 個人サポーター 1口1万円(寄付から1年間)

三菱東京 UFJ 銀行 青山支店(店番 608)普通預金
口座番号 0021714
口座名 公益財団法人 CIESF 理事長大久保秀夫

※ゆうちょ銀行、楽天銀行、クレジットカードでのご寄付については、CIESF ホームページをご覧ください。



CIESF の支援活動は寄付で成り立っています。皆さまのあたたかいお気持ちをお待ちしております。

編集後記 先日ふらつと途中下車した駅のそばに、老舗のおでんの立ち飲み屋さんを見つけました。これから春まで、仕事帰りにときどき途中下車決定です。寒いのは苦手ですが、寒い国だからこそ熱燗がおいしいんですね。そしてカンボジアに行ったときはもっぱらビールを飲みます。暑い国でのビールもまた最高！(YM)

発行: 公益財団法人 CIESF
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-7-5
URD 渋谷第 2 ビル 4F



CIESF NEWS LETTER

シーセフ ニュースレター 2014 December

第 27 号

公益財団法人 CIESF(シーセフ)は、非営利で国際的な民間の支援団体です。基礎教育の質の向上を主な目的とし、その上で高度人材育成も行い、カンボジアをはじめとした途上国の発展を支援します。

起業家育成事業も行っています

CIESF といえば、「国境なき教師団」の活動を中心に、カンボジアで教育の中身の支援を行っている教育支援団体——というプロフィールが一般的です。CIESF の柱となっている事業である「国境なき教師団」の教師派遣事業は、2008 年の設立当初から行ってきた活動です。プノンペンとプレイベンの小中学校教員養成校に日本のベテラン教師を派遣しはじめて 6 年目を迎え、5 年間の成果がようやく実を結んできました。加えて 2010 年からスタートした起業家育成事業と 2011 年からスタートした産業人材育成事業も重要な支援活動となっています。産業人材育成については、ニュースレター26号(11月発行)にてご紹介させていただきましたので、今回は起業家育成事業についてお知らせしたいと思います。起業家育成としては、カンボジアとミャンマーでビジネスモデルコンテストを毎年開催しています。このコンテストは、カンボジアやミャンマーをはじめとした、途上国の若者たちから起業家を育成し、将来の雇用を創出することを目的のひとつにしています。今年でカンボジアは第5回、ミャンマーは第4回となり、それぞれの国で今では認知度の高いコンテストとなっています。



昨年のカンボジアビジネスモデルコンテスト表彰式。1位のチームにメダルを授与する大久保理事長

10月25日、第4回ミャンマービジネスモデルコンテストの最終選考会と表彰式が行われ、今年も無事に終わることができました。このコンテストは、ミャンマー商工会議所と公益財団法人 CIESF が毎年共催しているもので、応募があったビジネスモデルの中から審査を経て残ったチームが研修を受け、最終選考会に臨みます。商工会議所や CIESF の審査員の厳しい目で評価された3チームが表彰され、賞金を授与されました。



23歳以下の若者の部(Level1)と、24歳以上の一般の部(Level2)の2つのレベルでそれぞれ表彰しました



共催であるミャンマー商工会議所の方々ほか、CIESF からはカンボジアオフィス副代表のバターソンが審査員として参加しました

第5回カンボジアビジネスモデルコンテストは、2014年2月8日に最終選考会と表彰式を開催する予定です。

カンボジアビジネスモデルコンテストスポンサー募集中

ビジネスモデルコンテストでは、応援して下さるスポンサーを募集しています。

- ゴールドスポンサー 30万円(現地企業 3000ドル)
- シルバースポンサー 20万円(現地企業 2000ドル)
- ブロンズスポンサー 10万円(現地企業 1000ドル) ※詳細は CIESF ウェブサイトをご確認ください





【講演いたします】

CIESF では、活動をお伝えする講演活動を行っています。話者は、CIESF 創設メンバーであり、理事・事務局長の戸田陽子です。団体設立から日本の事務局運営を行ってきた女性の視点で、カンボジアをはじめとした途上国にとって、今必要な教育支援についてお話いたします。少人数からイベントでのコンテンツとしてなど、ご相談に応じますので、ご興味のある方はお問い合わせください。

特集 教育関連企業と社会貢献⑤

カンボジアをはじめとした途上国の教育支援を行っている私たち公益財団法人 CIESF は、日本の教育について調べて、考えてみることにしました。現在カンボジアにおいては、学校という建物(=ハードウェア)ではなく、教育の中身(=ソフトウェア)の支援を行っています。具体的には、教師の質の向上を目指しベテラン教師を現地の教員養成校に派遣する「**国境なき教師団**」事業。そしてカンボジア教育省の若手官僚から国の教育政策を担う人材を育成する**教育政策大学院大学**事業です。日本の教育に基づいて、カンボジアに適した形でアドバイスをを行うのですが、基本となる日本の教育について、きちんと知っておかなければならないと思いました。現在、日本の教育も様々な課題を抱えています。その課題解決の課程や方法は、将来、途上国の教育支援に必ず活かせると想定しています。

まずは、教育関連事業を行っている企業の方にインタビューを行い、学校とは違う角度で日本の教育における課題を伺ってみます。また、ご紹介する先は、教育関連企業の中でも社会貢献に力を入れている点に注目し、取材のお願いをした企業です。



カンボジアで活動する「国境なき教師団」の教育アドバイザー

株式会社アカデミー 後編

インタビュー第 3 回目「QUALIER(クオリア)な人づくり」(QUALITY & FRONTIER の造語)を目指し、0 歳から大学合格まで教育サービスを提供する企業、株式会社アカデミー(栃木県宇都宮市)の後編です。お話を聞かせてくださったのは、代表取締役社長の河内宏之(かわちひろし)さんです。

社会貢献活動を企業の魅力としてとらえる社員



社会貢献活動を行っていることによる、周りの反応を聞いてみました。保護者の方々からのご意見が出るかと思いましたが、意外なところに反響がありました。

「新卒採用の際に、社会貢献活動を行っているというところに惹かれて当社に入ってくる社員が増えました。」(河内)

現在の大学生は就職先を選ぶ際、その企業の社会性について非常に関心を示すと言われています。たとえ大企業でなくても、その社会性に惹かれて優秀な人材が集まるといった企業の話も聞きます。アカデミーも、まさにそのような企業です。

「ただし、いいことをやりたい、ということだけで入ってきても現実には厳しい。利他の行為というのは実力が必要です。企業であるからには成果が伴わないと意味がありません。当社の場合は、きちんと塾生の成績を上げるなどの目標が達成されなければいけません。」(河内)

この点は、私たちのような NGO 団体にも共通することだと思いました。いくら理想の支援を述べても、実行に移すための資金が伴わなければ支援活動を行うことができません。口先だけではなく、地に足を付けてしっかり実態を伴った支援活動をしなければならないと、河内氏の言葉から改めて実感させられました。

今回アカデミー取材して、教育関連企業が、真剣に日本の教育改革について試行錯誤していることがうかがえました。現在問題となっている、学習時間の減少や教師のレベル低下などの課題を抱えたままでは、これから国際競争に勝つことができなくなると言われています。河内氏は、その解決策として、エリートの育成を掲げています。「指導者やリーダーシップが国政や社会を動かすと考えるならば、国家間競争とはエリート競争」であると捉えています。江戸から明治に時代が変わったとき、政府を動かしていたのは、ごく一部のエリートたちでした。彼らは、松下村塾や適塾などで昼夜を問わず学問に励み、海外へ出て見聞し、自らの道を切り拓いて行きました。これからの日本を救うのも、彼らのようなエリートであると河内氏は考えています。途上国ならますます、国を引っ張ってよりよい仕組みを作っていく、エリートが必要なのではないでしょうか。CIESF がカンボジアで行っている教育支援は、まさにこの考えです。非常に参考になるご意見・ご指導をいただきました。

(インタビュアー CIESF 事務局 増子夕夏)

「国境なき教師団」応援団

2013 年 11 月に「国境なき教師団」応援団が発足しました。カンボジアの教員養成校で教師を育てる支援活動をしている「国境なき教師団」を日本から応援しよう！ というこでできたグループです。元教師の方や教育支援に関心のある一般の方が入ってくださっています。この 1 年はメンバーの募集と、カンボジア写真展等のイベントご協力など、細々とした活動しかできませんでしたが、2 年目は、活動範囲も広げていきたいと考えています。



手作り教材で模擬授業を行う学生

たとえば、カンボジア教員養成校を巣立つ学生たちは、ほとんど教材のない地方の学校へ教師として赴任していきます。「せめて教科書に載っている教材のうちひとつでも、手作りできるものを持参させてあげたい。」メンバーからのそんな提案で、今年は教材作りをやっていきたいと計画しています。活動の主体は事務局ではなくメンバーです。皆さまのご参加お待ちしております。入会についての詳細は CIESF ウェブサイトもしくは事務局までお問い合わせください。



【スタッフを紹介します】 **カンボジアオフィス事務局長 松倉洋海(まつくら ひろみ)**
CIESF カンボジアオフィス事務局長の松倉です。カンボジアで実施している CIESF の全ての事業に携わらせていただいています。「魚を与えるのではなく、魚の釣り方を教える」という言葉をモットーに、カンボジアの人たちが自立できる支援を常に模索して、挑戦していきます。また、日本流を押し付けるのではなく、現地に即した形でカンボジア人に寄り添った支援を心掛けて活動しています。カンボジアにお越しの際は、喜んで活動を紹介させていただきます。今後よろしくお願ひします。

ご支援ありがとうございます (11 月)

CIESF の活動は、多くのサポーターの方々に支えられています。法人サポーターの皆さま(プラチナ・ゴールド・シルバー・ブロンズサポーター)・個人サポーターの皆さま(スペシャル・個人サポーター・「国境なき教師団」応援団)には、誠に感謝申し上げます。11 月にご寄付を頂戴した方々を下記にご紹介させていただきます(11/1~11/30)。

- 法人サポーター:経営企画室株式会社(ゴールド)/株式会社アックスヤマザキ(ゴールド)/アサヒ・ドリーム・クリエイティブ株式会社(シルバー)/会津太陽光発電株式会社(シルバー)/メイク広告株式会社(シルバー)/クジラ株式会社(シルバー)/株式会社アリックス(ブロンズ)/トライモア株式会社(ブロンズ)/ホウライ株式会社(ブロンズ)/
 - 支援企画寄付:リネットジャングル株式会社/有限会社モイスティーマ仙台販売/スマイルキューブ株式会社/株式会社愛媛企画
 - スペシャルサポーター:河野孝/岩本信一
 - 個人サポーター:本郷真由美
 - 「国境なき教師団」応援団:佐藤智理
- ※以上敬称略